

# 「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクト

令和4年度 第1回

## 「嶺南ふるさと学習」 推進プロジェクト会議

- ・対話力、協働する力
- ・発信力、課題解決力

高校

嶺南教育事務所  
推進プロジェクト実行委員会

中学

令和4年6月21日（火）14：00～16：00

嶺南市町教育委員会・学校推進プロジェクト

嶺南教育事務所推進プロジェクト実行委員会

小学校

探究的な学習活動の充実  
つきたい力の系統化

# 「嶺南ふるさとと学習」推進プロジェクト

嶺南のふるさとを生かした「探究的な学習」

知る

つなぐ  
広げる

つくる  
かかわる

育む「ふるさと愛」

- ・ 地域を生かす、守る
- ・ 地域とつくる、育てる



育てる「資質・能力」

- ・ 自ら「問い」をつくる力
- ・ 対話力、協働する力
- ・ 発信力、課題解決力

高校

中学校

「問い」を  
深く探究

小学校

探究的な学習活動の充実  
つけたい力の系統化

嶺南教育事務所  
推進プロジェクト実行委員会

○調査・研究プロジェクト

- ・ 資質・能力の評価（調査・研究）

○学び・交流推進プロジェクト

- ・ R-cafeの開催、嶺南教育実践フォーラム

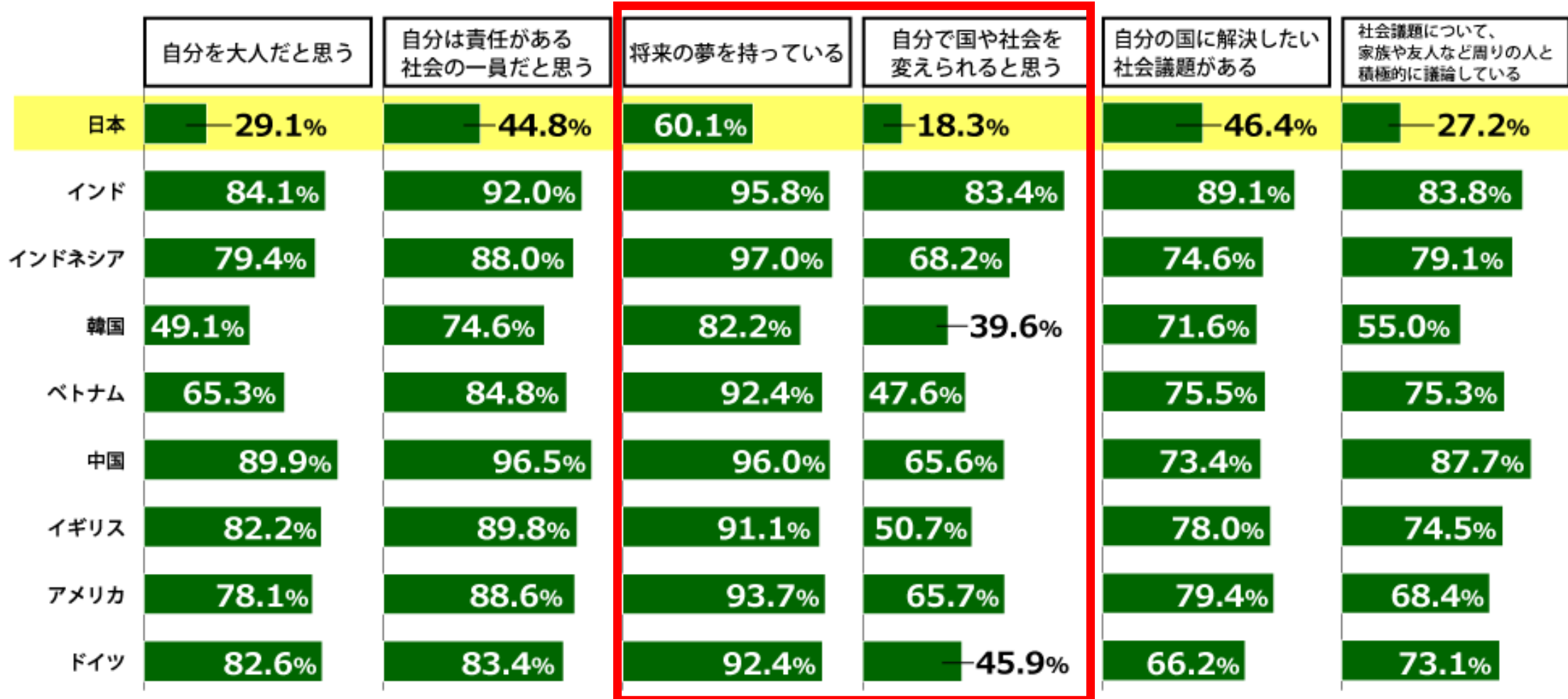
○連携サポート・広報プロジェクト

- ・ 学校事業のサポート（訪問研修等）<sup>2</sup>
- ・ 情報の発信（HP、STEP等）

嶺南市町教育委員会・学校（小・中・県立学校）推進プロジェクト

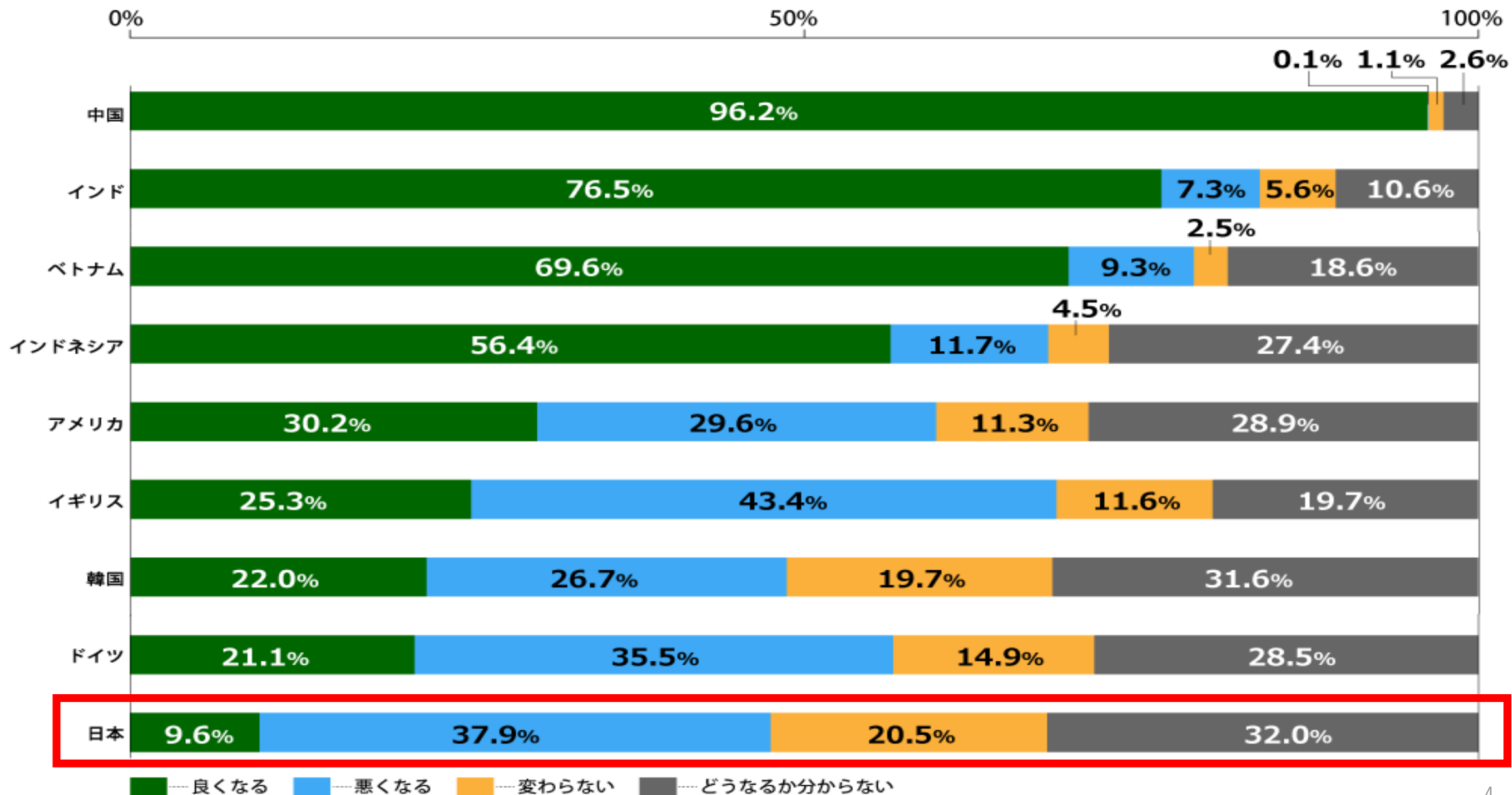
# 日本財団「18歳意識調査」第20回 「国や社会に対する意識」 (9カ国調査) 2019

Q. あなた自身について、お答えください。(各設問「はい」回答者割合)



引用：日本財団「18歳意識調査」第20回「国や社会に対する意識」(9カ国調査) 2019

Q. 自分の国の将来についてどう思っていますか。



# 「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクト実行委員会のつながり ーR4年度プロジェクト構想と嶺南教育事務所基本方針ー

## ○R4年度 嶺南教育事務所基本方針

福井県教育振興基本計画の理念を踏まえ、人権尊重の精神を基盤に、**嶺南の特色を生かした「夢と希望」「ふるさと愛」を育む**教育を推進する。

## ○育てたい「嶺南の子」

- ・ **自分と向き合い・考える子**
- ・ **自らつながる子**

これらの育成につながる  
「探究的なふるさと学習」

# R3 「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクト会議 (成果と課題、今後必要な視点と実践の共有)



「...」の育成

や姿勢を持つ生徒の育成

術人材の育成」

高生「フナ缶」挑む

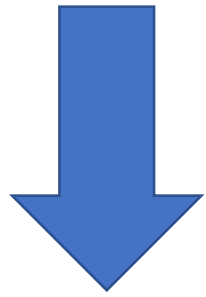
五湖の伝統漁法後世へ

若狭町の三方湖などで主に冬にされるフナを一年中味わえるよう、若狭高専海洋科学科の女子がフナの養付けの缶詰の商品化を進めている。奥山山手海湖地元産漁協の依頼を受けたも、年3月に発売する予定。7日、の三方五湖自然観察館で試食会味やデザインなど商品化までの係者が協議した。

「...」に挑戦!  
「...ピア」も研究

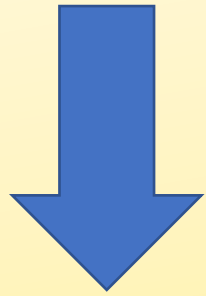
# ステージ1「知る」R3～R5年度計画

R3 「知るvol.1」 → 相互の実践を「知る」



課題→・「ねらい」の明確化  
・資質・能力の見取り、評価  
・学校間の「つながり方」

R4 「知るvol.2」 → ①資質・能力の見取り・評価を



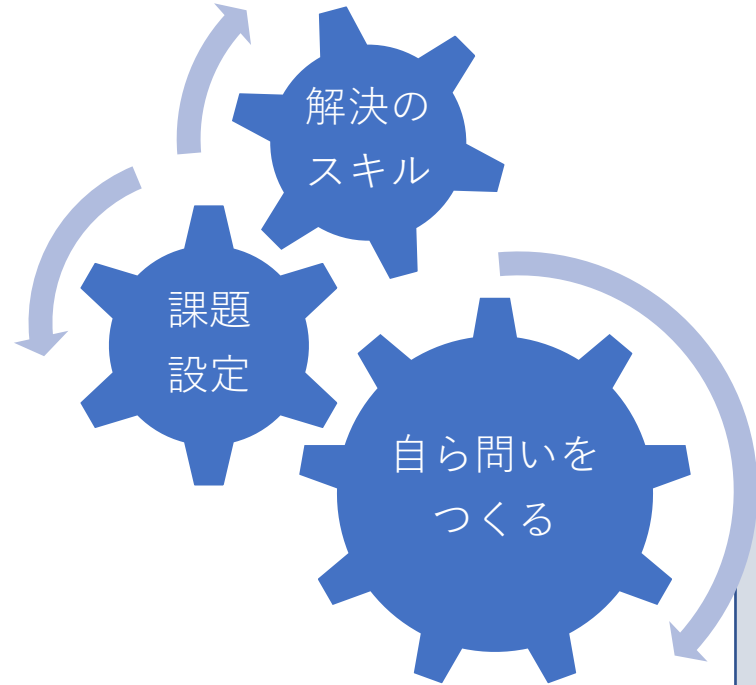
「知る」  
②異校種間のつながり方を  
「知る」

R5 「知るvol.3」 → 「つなぐ・広げるvol.1」

学校間の教員、児童・生徒をつなぐ  
探究的な学びをつなぐ「ふるさと学習⇔教科」<sup>7</sup>

# 重点化した「知る」の「見取り・評価」研究

R4 「知るvol.2」 → ①資質能力の見取り・評価を「知る」  
②異校種間のつながり方を「知る」



## R4年度重点化 【見取り・評価研究】

- ・自ら「問い」をつくる力

## R5年度重点化 【見取り・評価研究】

- ・対話力、協働する力
- ・問題解決力

## R6年度重点化 【見取り・評価一般化】

- ・自ら「問い」をつくる力
- ・問題解決力
- ・対話力、協働する力
- ・発信力



# 「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクト

嶺南

知

## 嶺南教育事務所 推進プロジェクト実行委員会

～ R4 「知るvol.2」 mission ～



資・能力」

をつくる力  
動する力  
問題解決力

高校

嶺南教育事務所  
推進プロジェクト実行委員会

### ○調査・研究プロジェクト

・資質・能力の評価（調査・研究）

### ○学び・交流推進プロジェクト

・R-cafeの開催、嶺南教育実践フォーラム

### ○連携サポート・広報プロジェクト

・学校事業のサポート（訪問研修等）

中学校

「問い」を  
深く探究

小学校

探究的な学習活動の充実  
つけたい力の系統化

## 「指導と評価」 調査研究チームmission

①資質能力の見取り・評価を「知る」



◇見取り・評価の学校モデルを調査

### 【学校調査】

- ・ R3年度アンケートをもとにした見取り・評価の調査
- ・ 学力調査(国・県)の児童生徒質問紙と関連した調査研究
- ・ 自ら「問い」をつくる学習場面の参観・調査

特別支援学校の見取り方に立ち返る（基本）

## 「連携サポート・広報」チームmission

- ①資質能力の見取り・評価を「知る」
- ②異校種間のつながり方を「知る」



◇指定校の実践をサポート

**【実践参観・助言】** 自ら「問い」をつくる学習場面を参観・助言

◇実践校等と指定校をつなぐ

**【実践校の情報提供】** 見取り・評価の実践情報を提供

**【同校種連携モデル】** 大学講師等との連携を推奨

**【異校種連携モデル】** 小・中・高校間の連携について研究を推進

## 「学び・交流」 チームmission

- ①資質能力の見取り・評価を「知る」
- ②異校種間のつながり方を「知る」



- ◇資質・能力の見取り・評価を「学ぶ」場をつくる
- ◇学校間で資質・能力について考える場をつくる
  - 【講師を招聘した「学び」の場づくり】 R-cafeの開催
  - 【小・中・高・大のつながりづくり】 交流の形づくり
  - 【嶺南教育実践フォーラムとの連携】 共有の場づくり

嶺南ふるさと学習推進プロジェクト  
先生たちの「学び・交流」オンライン座談会

参加者  
募集

R-cafe



～嶺南で実現する探究的な学び～



令和4年

7月13日(水)

15:30～16:30

一般社団法人こたえのない学校

代表理事 藤原 さと 氏

# 「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクト

嶺南

知

## 会議事前学校訪問から見たこと

- ◇ 自ら「問い」をつくるギミック
- ◇ その「見取り」と「評価」



資・能力」

をつくる力  
動する力  
発信力、課題解決力

高校

嶺南教育事務所  
推進プロジェクト実行委員会

- 調査・研究プロジェクト
  - ・資質・能力の評価（調査・研究）
- 学び・交流推進プロジェクト
  - ・R-cafeの開催、嶺南教育実践フォーラム
- 連携サポート・広報プロジェクト
  - ・学校事業のサポート（訪問研修等）

中学校

「問い」を  
深く探究

小学校

探究的な学習活動の充実  
つけたい力の系統化

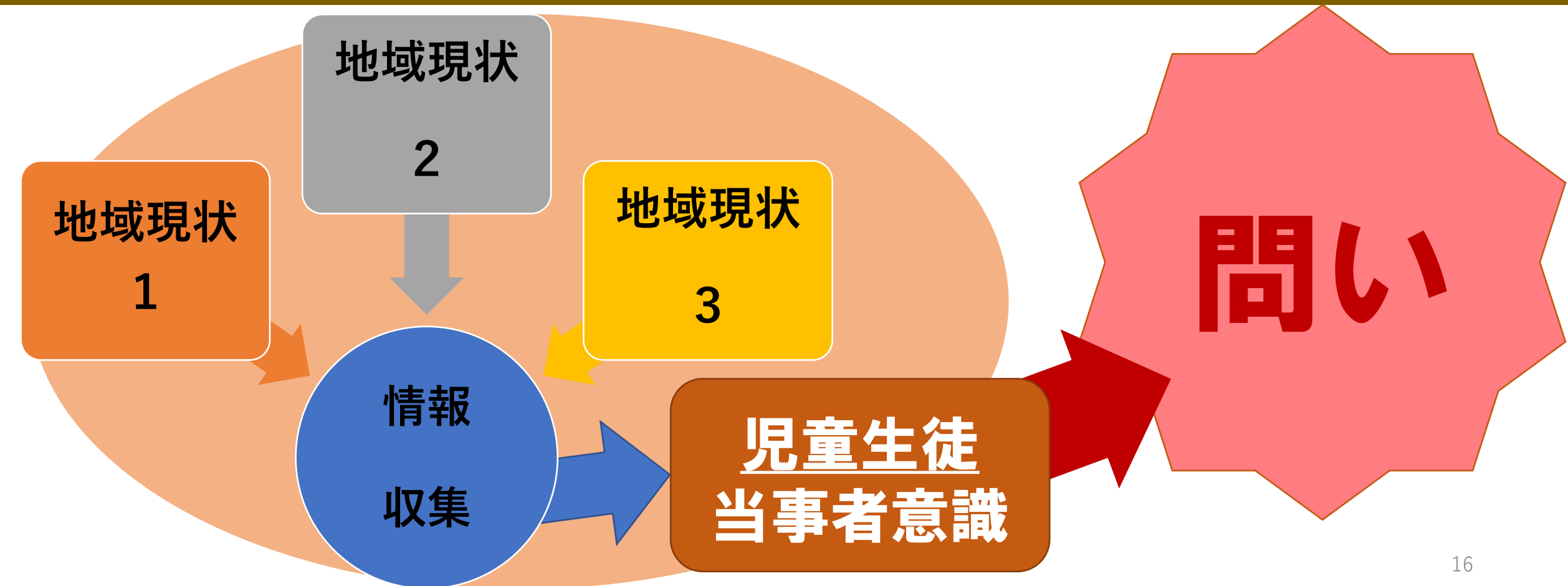
# 会議事前学校訪問から見たこと

自ら「問い」をつくるギミック①～豊富な体験～



# 会議事前学校訪問から見たこと

## 自ら「問い」をつくるギミック②～情報の受信～





# 会議事前学校訪問から見たこと

自ら「問い」をつくるギミック③～地域のSOS～



# 会議事前学校訪問から見たこと

## 自ら「問い」をつくるギミック④～問いの継承～

### 地域連携

地域課題の

- ・ 投げかけ
- ・ 協力依頼

### 異校種連携

「問い」の継承  
学び方等の手本

児童生徒  
当事者意識

問い

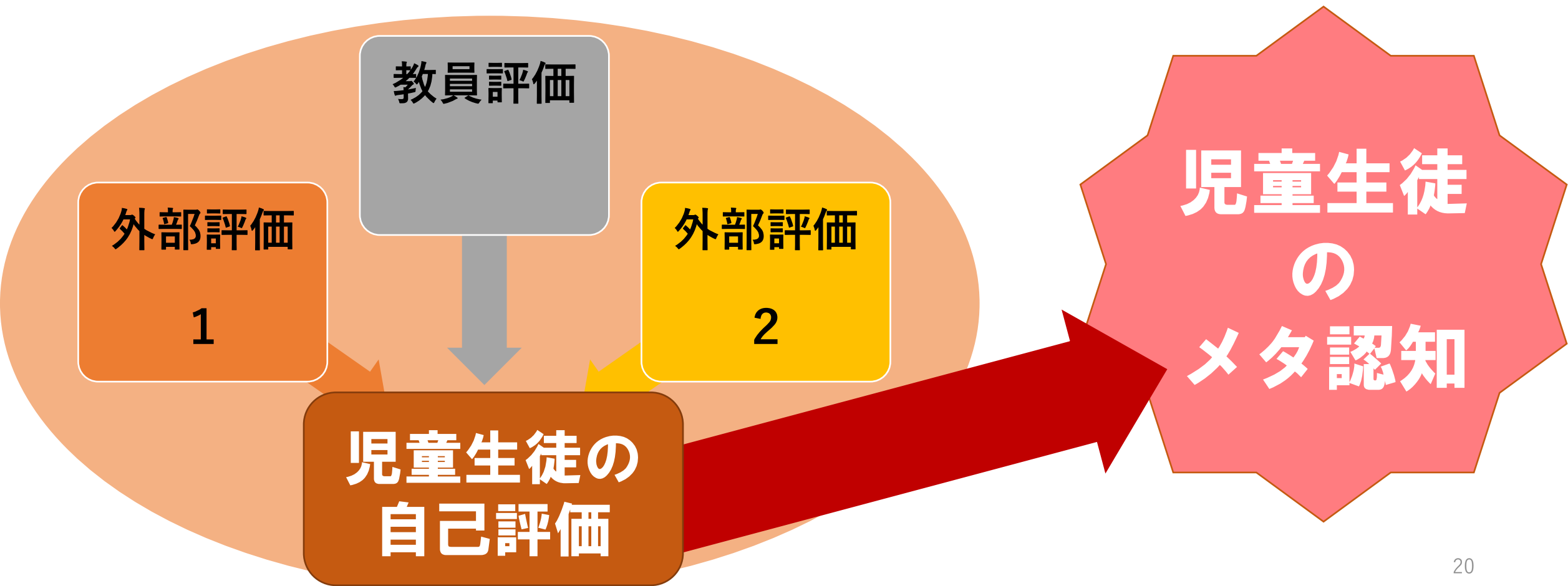
# 会議事前学校訪問から見たこと

自ら「問い」をつくる見取り・評価①～面談～



# 会議事前学校訪問から見たこと

自ら「問い」をつくる見取り・評価②～自己・外部評価～



## グループセッション<1>

### 「自ら『問い』をつくる力」への ギミック（しかけ）について

○どのような環境が自ら問いをつくる「きっかけ」となるのか

- ・ 課題の設定における「しかけ」「きっかけ」
- ・ 外部との連携（地域・学校間・異校種間）

でつくる「しかけ」「きっかけ」

○連携サポート・広報プロジェクト

## グループセッション<2>

# 「自ら『問い』をつくる力」の 見取り・評価の場面・方法について

- 「どの場面」「どの姿」を「どのように」見取り、評価するのか
- 「メタ認知」としての自己との向き合い方をどうつくるか

小学校

探究的な学習活動の充実  
つけたい力の系統化

○学び・交流推進プロジェクト

・R-cafeの開催、嶺南教育実践フォーラム

○連携サポート・広報プロジェクト

・学校事業のサポート（訪問研修等）

# お知らせ（児童生徒の情報収集として）

## 令和4年度 SDGs オンライン講座（義務教育課）

- 1 対 象 県内小中学校
- 2 実施内容 ・ 「ふくいSDGsパートナー」登録企業や各種団体を講師としたSDGsに関わる取組をオンラインで講座
- 3 内 容 ・ SDGs概要、国際協力、人権、キャリア教育、環境、福祉、まちづくりなど（各小中学校がリストから選択）
- 4 講座時間 20分程度
- 5 実施方法 ・ 講座希望の小中学校と企業・団体とをオンラインでつなぎ実施
- 6 募集および参加方法
  - ・ 募集は年2回（前半5月下旬、後半9月下旬）
  - ・ 希望する小中学校は、市町教育委員会を通して申し込む

※詳細は、市町教育委員会より配付された資料をご覧ください。